

男女共同参画推進連携会議「経済分野における女性の活躍促進」チーム第3回会合議事概要

1. 日 時 : 平成30年11月15日(木) 14:00～16:00
2. 場 所 : 中央合同庁舎8号館4階416会議室
3. 議 事 : (1) 地域版「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」の展開について
 - ・「どんどん鹿児島女性の活躍応援団」について
(鹿児島県 県民生活局 男女共同参画室 室長 日高 照子氏)(2) 女性と経済について
 - ・APEC 女性と経済フォーラムについて(概要)
 - ・APEC BEST AWARD受賞者よりヒアリング
(株式会社成美 代表取締役 岩切 知美氏)
 - ・WEPs リーフレットの改訂について
 - ・地方における女性の働き方と起業の現状について
(東京ニュービジネス協議会 理事
兼 女性活躍推進委員会委員長 柳川 舞氏)(3) 意見交換
4. 出席者 :
 - (有識者議員)
明石議員、飯田議員、犬塚議員、上林議員、松永議員、渡邊議員
 - (団体推薦議員)
矢野議員、篠塚議員、降旗議員、潮議員、三輪議員、國分議員、富澤議員、毛利議員、高松議員、澤田議員、下村議員、梶原議員、名取議員、佐藤議員、清塚議員
 - (発表者)
 - ・鹿児島県県民生活局男女共同参画室長 日高 照子氏
 - ・株式会社成美代表取締役 岩切 知美氏
 - ・東京ニュービジネス協議会理事兼女性活躍推進委員会委員長 柳川 舞氏
 - (事務局)
池永 内閣府男女共同参画局長、岡本 内閣府大臣官房審議官(男女共同参画局担当)、栗田 内閣府男女共同参画局総務課長、吉田 内閣府男女共同参画局総務課企画官、上西 内閣府男女共同参画局政策企画調査官

5. 議事概要

○議事 1 について、資料 1 に基づき、鹿児島県県民生活局男女共同参画室長 日高氏より、地域版「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」として本年 7 月に鹿児島県において結団された「どんどん鹿児島女性の活躍応援団」について発表が行われた。発表を踏まえ、意見交換を行った。

・非常に良い取組である。先ほど参考にされている例として神奈川県を挙げていたが、神奈川県知事は、女性活躍だけで企業の関心を集めるだけではなく、例えば健康寿命を延ばすための未病の取組と合わせたり、働き方改革に合わせたりする形で企業とのコラボレーションをやっている。こういった取組は企業経営者からすると、「女性活躍をやる」ということが明確なメッセージとして伝わってくる。鹿児島県で取組を進めるにあたって御参考にされると良いのではないかと。これからもがんばっていただきたい。

・鹿児島県の独自の取組として行われている「女性ワーキンググループ」の取組が特徴的だと思うが、これはこういった意図があって行われたのか。

⇒県内の働く女性が実際に何に困っているのかを知りたいというのが大きな動機である。また、働いている女性同士のネットワーク形成も狙った。計画への意見の反映や協働でセミナーを行うなど、県としてこのグループの意見はとても参考となっている。

・鹿児島県で女性副知事が誕生したというのは、経営者の方々の意識も変えることとなり理解を深めたということで、とても大事なことであり、知事や議会の協力も大切だということが分かる。また「女性ワーキンググループ」の取組も非常に興味深い。やはり経営者の方々がトップダウンで意識を変えていただくということが柱だとしても、女性自身がこの活動に、理解や賛同していないと、具体的な職場の現場などでは変わっていかないと思う。

・今回の男性リーダーの取組については鹿児島県という県単位で行っているものだと思うが、市町村レベルではいかがか。

⇒やっとならば県で本取組ができた状況。市町村では市町村職員の女性管理職も少ない状況であり、市町村においても進めていきたいと考えている。

○議事 2 について、今年 9 月に行われた「APEC 女性と経済フォーラム」について資料 2-1 に基づき事務局より説明が行われた。その後、「APEC 女性と経済フォーラム」内のサイドイベントである「APEC BEST AWARD」において「Highest Growth Potential 賞」を受賞された株式会社成美代表取締役 岩切氏より資料 2-2 に基づき自身の事業について発表が行われた。発表を踏まえ、意見交換を行った。

・地方でがんばろうという女性に講演などを行ったりしているのか。

⇒講演依頼については多くあり、行っている。

・東京などと違って九州などの地方では情報が少ない。イベントがあると大変有難いと聞いたこともある。こういったルートだと女性で起業したいという人達に情報が届くと思うか。

⇒私自身、起業に関する情報が全くなくて困った覚えがある。大変有難かったサポートは専門家派遣などのサポートであった。起業に関する情報については、やはり各自治体が届けるのが良いのではないか。

・本日の発表はぜひ全国の女性起業家にも聞いてほしい内容だ。我々が女性起業家を支援している中でも、課題となってくることはロールモデルが少ないこと。是非、講演等もたくさんしてほしいと思う。

○議事 2 について、資料 2-3 に基づき事務局より、WEPS リーフレットの改訂案の説明が行われ、今後の修正案について、事務局にメールで送付していただくこととなるとともに、その後の修正についてはコーディネーター預かりとなった。

○議事 2 について、「地方における女性の働き方と起業の現状について」を資料 2-4 に基づき、東京ニュービジネス協議会理事兼女性活躍推進委員会委員長 柳川氏より発表が行われた。発表を踏まえ、意見交換を行った。

・本日の発表を受けて、現在我々が行っている研修会等は同じ企業内の人同士で行うということが多いように感じた。本日の発表のように同じ企業内の中だけではなく外に出ていく研修もやってみたいと考えた。企業と起業家や地域をまたがることも含めて、外の方々とつながる研修を行ってみたい。

・ツアー参加者のツアー参加理由についてはどういったものがあったのか。また参加者の満足度はどうだったか。

⇒東京からの参加者については地方の事業の内容について知りたいということが参加理由にあったようだ。一方で地方からの参加者は「何だか楽しそう」といった観点から参加されているようで、体験ツアーの魅力を重視されて参加された方が多い。参加をした後の評価については、大半の方々は来てよかったという評価であった。「自分と同じように思っている人が別の地域にもいるのだ」、とポジティブな思いになったり、「自分もがんばろう」と思えたりしたとの意見を多く頂戴した。

○議題 3 について、今後のチーム活動等について意見交換を行った。主な意見は次のとおり。

・今日の話にもつながるだろうが、新しい産業構造に変わる中で女性活躍をどう飛躍していったら良いのか、新しい産業に向かう中での女性活躍推進の姿がどのようなものなのか、というのが出てくると良いのではないか。今日の起業に関する事例も大変良かったと思う。新しい価値を創造することに女性が活躍されている中で、今日の発表も大変刺激的であったし、きっとまだまだ、色々な事例があると思うので、そういった好事例を紹介していただきたい。

- ・当団体では女性起業家の育成を掲げて活動している。この団体での活動をはじめてまずは思ったことは大学生の卒業後の選択肢が「企業への就職」しかなく「起業」という選択肢がないことである。このため当団体では高校や大学で授業などを行い、女性の将来の選択肢の中には起業というものもあるということを広めていっている。また起業の支援については資金や人脈のないいわゆる「アーリーステージ」の人達へ支援を行う活動も行っている。

○最後に、明石コーディネーターより、今後のスケジュールについては事務局より改めて連絡することの連絡を行った。

以 上